

水通信



2020.12.24 第177号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目 次

☆【[巻頭言](#)】

- 中部支社副支社長 村尾浩太

☆【[中部管内水源情報](#)】

☆【[新着情報](#)】

[令和2年度技術研究発表会について](#)

- 理事長賞と特別賞を受賞！！

[「水の恵みカード」を順次配布スタートします](#)

- 「水の恵みカード」について

[中部支社](#)

- 「あいちの水資源」に出展しています

[豊川用水](#)

- 令和2年度 豊川用水環境学習会を開催しました
- 牟呂松原頭首工の施設見学を行いました
- 排水ポンプ車訓練を行いました！
- 530（ゴミゼロ）運動を実施しました！
- しんしろクリーンフェスタ2020（秋）
- ミニチュア豊川用水の結果は（出前講座にて）

[木曾川水系連絡導水路](#)

- 「夜叉ヶ池登山道清掃活動」に参加しました

愛知用水

- 愛知用水幹線水路の水路徒歩巡視点検を実施しました

木曾川用水

- 労働安全講習会を開催しました
- 長岡小学校4年生の体験学習を実施しました
- 木曾川右岸緊急改築事業の工事見学会を実施しました

岩屋ダム

- 環境美化活動に参加しました
- 『岩屋ダムかるた』を作成しました！

阿木川ダム

- 体験学習会を実施しました
- 出前講座を実施しました

徳山ダム

- 水質テロ訓練を実施しました

長良川河口堰

- 人工河川を利用した銀毛アマゴ放流事業

味噌川ダム

- ドローン講習会を行いました
- 木祖村文化祭に出展しました
- 機器の操作訓練を行いました

三重用水

- 「水の恵みカード」の配布開始についてテレビ取材を受けました

☆ イベントカレンダー

- 令和3年1月～2月

☆ 編集後記

- 担当課 中部支社事業部設備課

巻頭言

【中部支社副支社長 村尾浩太】

2020年も残りあと僅かとなりました。本年も水資源機構が行う建設、管理の各事業につきまして、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年を振り返りますと、4月、5月の小雨と同時期の水利用が重なる事により、愛知用水の牧尾ダムでは貯水量が減少し節水対策をとる寸前までいきましたが、6月の梅雨入りで節水をなんとか回避する事が出来ました。一転して、7月に入ると全国的に大雨、長雨状況を呈するようになり、中でも熊本県の球磨川や岐阜県の飛騨川において河川氾濫、土砂災害など大きな災害が発生しました。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

さらに8月に入ると中部支社管内の各ダム流域の月間降雨量が、各ダム管理開始以降1番目、2番目に少ない月になるなど、気象状況、降雨の状況がめまぐるしく変わる年となりました。

水資源機構が管理するダム、用水路、堰については、主に洪水を防ぐ目的とダムや貯水池に水を貯え調節して送水し、上水道、工業用水、農業用水、発電に使っていただく目的がありますが、本年のようにめまぐるしく変わる気象状況のもとにあっても、しっかりと洪水を防ぎ、過不足なく水をお届けして使っていただく事が使命であり、日々、その目的を達成するため、気象状況の変化を踏まえつつ、工夫して、施設操作、維持管理にあたっているところです。

また、本年は、治水対策の新たな取り組みとして、治水ダム、利水ダムの利水容量をダムからの放流により一時的に空けて、洪水調節のために使うという「事前放流」を全国的に取り組む事となり、水資源機構中部支社管内の各ダムにおいて、関係機関と連携、協議して事前放流に関する協定を締結しました。中部支社管内の本年の事前放流については、大島ダム、宇連ダム、牧尾ダム、岩屋ダムの4ダムにおいて実施し、洪水による災害発生リスク低減を図りました。事前放流の取り組みにつきましては、関係機関、関係者の皆様に、多大なるご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

もう一つ気象関係の話題ですが、気象庁のホームページの各種データ・資料や知識・解説のカテゴリーの中に、エルニーニョ現象、ラニーニャ現象に関する現況や解説が記載されています。これによりますと、2020年夏頃からラニーニャ現象が発生しており、冬期にかけてもラニーニャ現象が続く可能性が高いとの見通しが示されています。ラニーニャ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より低くなり、その状態が1年程度続く現象とされています。ラニーニャ現象が発生する場合の日本付近への影響ですが、冬期は西高東低の気圧配置が高まり、気温が低くなる傾向、降水量は太平洋側で少ない可能性がやや高いようです。

梅雨、前線、台風などの降雨状況に加えて、エルニーニョ現象、ラニーニャ現象などの気象に関連する状況も短期、中期、長期の予報、予測に注意を払い、それらの変化にできるだけ適応した施設の維持管理運用を行うよう今後とも努めて参ります。

最後に、今年の漢字「密」が発表され、ほぼ1年間、新型コロナウイルス感染症対応に政治・経済も含め混乱の一年であり、来年もまだまだ予断を許さない状況が続くと思われまます。

皆様におかれましては、本年も「水通信」をご愛読いただき誠にありがとうございました。来年こそ、通常に生活ができるよう、健康にご留意され、より良い年を迎えられますよう、心からお祈り申しあげます。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける12月24日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の12月降雨量は平年を下回る状況（平年比1%～20%）となっていますが、4ダム合計の貯水率は90%（平年比104%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

なお、牧尾ダムでは12月からは主として発電運用期間（翌年3月31日まで）となり、3月末にかけて貯水量が計画的に低下していきます。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの12月降雨量は、平年を下回る状況（平年比0%）となり、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は75%（平年比95%）と平年を下回る貯水状況となっています。

少雨に伴う河川流況の悪化により、ダムからの利水補給を行っているため、今後の降雨、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける12月の降雨及び利水貯水率（12月24日現在） 単位：（％）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	3	3	20	1	0	0	32	47
利水貯水率 (平年比)	78.2 (107.9)	92.2 (104.1)	98.0 (102.2)	97.6 (102.5)	68.0 (92.1)	85.9 (94.1)	68.2 (90.9)	100 (100)

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など
https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessui_jyouthou02-1.html

新着情報

令和2年度技術研究発表会について

○ 理事長賞と特別賞を受賞！！

9月17日（木）に中部支社で行った令和2年度中部ブロック技術研究発表会の優秀賞5題が、中部ブロック代表として選出され、12月8日（火）に本社で行われた技術研究発表会で発表する機会を与えられました。その5題の中から、長良川河口堰管理所環境課の田中幹大主査の論文が理事長賞を、同管理所機械課の櫻庭崇紘技師が特別賞を受賞しました。

今後も、中部支社及び本社の発表会を通じて職員の技術力の向上、開発、蓄積を図るとともに、自己啓発と研究意欲の喚起及び技術情報発信の場となるよう努めていきます。

理事長賞を受賞した論文の概要は以下のとおりです。



■受賞した二人（左:田中主査 右:櫻庭技師）

論文名：長良川河口堰におけるA I 技術を活用したアユ遡上数自動係数システムの構築

概要：長良川のアユは、長良川河口堰の魚道の機能を確認するうえでの注目種として稚アユの魚道での遡上状況を継続的に調査するとともに、遡上数をホームページにて公開している。

長良川河口堰管理所では、当該調査においてA I（人工知能）技術を活用したアユ遡上数自動計数システムの構築を平成31年より進めてきた。このシステムは、魚道を遡上する魚類等を撮影したビデオ映像をもとに、稚アユの泳ぎ方などを予めA Iで学習させることで魚種判定を行いつつ稚アユの遡上数を自動で計数するものであり、令和2年試行運用ではこれまでの目視による手動計数結果と比較して正解率90%以上の精度を確保することができ、実用化レベルでの有効性が確認できたところである。

本稿は、当管理所のアユ遡上数自動計数システムの構築と、その本格運用に向けたこれまでの取組みを報告するものである。

特別賞を受賞した論文は、水門運転状態管理・診断システムによるIoTを用いた状態監視保全への取組みです。

「水の恵みカード」を順次配布スタートします

○ 「水の恵みカード」について

普段私たちが口にしている農産物は、用水路や取水堰などの農業水利施設を流れている水の恵みを受けて育っています。当機構は、農林水産省と共に、地域の農産物と用水路や取水堰等の農業水利施設(水の恵み施設)のことをわかりやすく紹介するため、「水の恵みカード」の配布を始めました。

中部管内では、第1弾として11月9日(月)から愛知用水と木曾川用水で、第2弾は12月5日(土)から三重用水の「水の恵みカード」を配布しています。第3弾で、豊川用水が配布する予定になっています。関連記事として三重用水管理所の記事をご覧ください。

なお、配布枚数が限られているうえ、配布場所がダムカードとは異なった場所になっているものもあります。詳細は、以下の本社ホームページまたは各事業所へお問い合わせ願います。

「水の恵みカード」の詳細はこちら。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/tourism/mizucard/index.html>

中部支社

○ 「あいちの水資源」に出展しています

愛知県図書館において、「あいちの水資源」と題して11月13日(金)から令和3年1月13日(水)まで展示コーナーを設置するに際し、図書館から中部支社に機構の愛知県内の水路施設の出展依頼がありました。これに応え、愛知用水、豊川用水、木曾川用水のパネル及び配布用の概要書を展示しています。

展示コーナーは、愛知県図書館の1階ロビーの一角にあり、配布用の概要書が好評で、水資源に対する関心の深さがうかがえます。

期間中、コロナ禍ではありますが、愛知県図書館に足を運ばれてはいかがでしょうか。

同コーナーには、あいちの水資源に関する歴史等の書籍も併せて展示してあります。

愛知県図書館の最寄り駅

- ・地下鉄 鶴舞線「丸の内駅」下車徒歩8分
- ・市バス 幹名駅1系統、名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分

企画展示 あいちの水資源



■配布用の概要書



■パネル展示と書籍展示

豊川用水総合事業部

○ 令和2年度 豊川用水環境学習会を開催しました

10月28日(水)、環境保全に対する意識向上を目的に、豊川用水環境学習会を開催しました。今年度は「愛知県の農業農村整備事業における環境配慮」をテーマに、愛知県から3名の講師をお招きして講演を行いました。

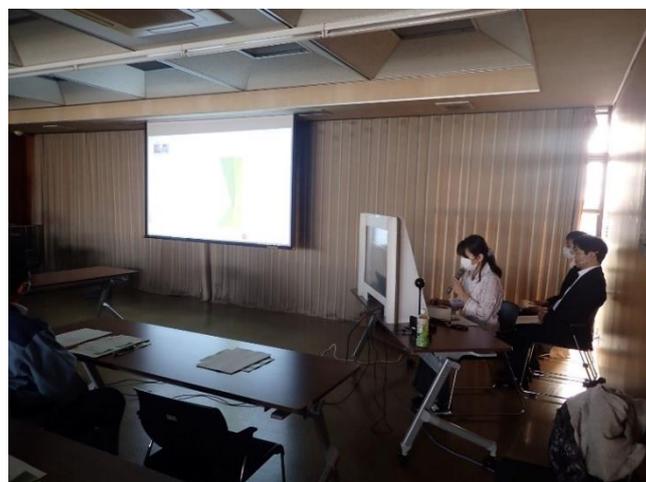
今回の学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した中での開催でしたが、機構職員、土地改良区、愛知県関係機関から48名(WEB参加を含む)の参加を得ました。

受講者にとっては、農業農村整備事業における今後の環境への配慮を考えるうえで、参考になるものでした。

また、学習会終了時に回収したアンケートで多数のご意見等があり、今後の学習会開催運営に活かしていきたいと思っております。



■講習を受ける職員たち



■講演者の講演の様子

○ 牟呂松原頭首工の施設見学を行いました

11月6日（金）、豊橋市立賀茂小学校と同西郷小学校の4年生（31名）が校外学習の一環として、牟呂用水の水の流れを学ぶため、スタート地点である牟呂松原頭首工の見学に訪れました。

まずは頭首工前の豊川で汲み上げた水を使って、児童自らパックテストを用いた水質調査を実施しました。パックテストの反応を待つ間、機構職員はドキドキ。5分後「水がきれい」、「水質がいい」との声が聞こえ、機構職員は、ほっと胸をなでおろしました。その後、生活に必要な水の知識や牟呂松原頭首工について説明しました。児童たちは熱心に説明を聞き、メモをとっていました。

今回の施設見学を通じて、水の知識やライフラインの大切さを学ぶことができ、児童にとって有意義な施設見学になったのではないかと思います。

○ 排水ポンプ車訓練を行いました！

11月18日（水）、万場調整池にて排水ポンプ車訓練を実施しました。

訓練は、関係機関7名、他事務所4名、協定業者7名、事業部職員17名の計35名で実施しました。

開会の挨拶の後、実際に排水ホースの伸展と収縮方法、排水ポンプとフロートとの接続方法、排水ポンプ運転方法などを習得する訓練を行いました。

この訓練の目的は、機構職員が実働訓練をすることで操作方法を習熟することはもちろんですが、利水者、市町村の方々に開催案内をさせていただき、今後も市町村等の地域支援に取り組み、地域との連携を進めていくこととしています。



■排水ホース展開状況



■排水訓練の様子

○ 530（ゴミゼロ）運動を実施しました！

11月24日（火）、豊川用水総合事業部及び豊川総合用水土地改良区の職員40名で530運動（地域清掃活動）を行いました。

今回の清掃活動は、豊橋公園を含む事業部周辺を3班に分けて行いました。普段何気なく歩いている道ですが、注意して見てみると、タバコの吸い殻や空き缶などが多く見つかりました。

参加者の協力により、3 kgの燃えるゴミと1 kgのペットボトルと空き缶を回収することができました。

今後も、このような清掃活動を通して、地域に貢献できる組織を目指していきます！



■清掃活動の様子



■回収したゴミと参加者

○ しんしろクリーンフェスタ2020（秋）

11月25日（水）、「しんしろクリーンフェスタ2020（秋）」を実施しました。

本イベントは、春は新城市主催で、秋は地域や市内事業所、各種団体が独自に主催し、実施されるものです。今回は秋のイベントとして、新城支所で実施しました。

当日は、新城支所の職員に加えて、大野管理所や水源管理所、牟呂用土地改良区の方々にもご協力いただき、総勢21名で、清流豊川、海倉橋の上下流を中心に2ルート（各ルート約4 km）に分かれ、約2時間をかけて清掃活動を実施しました。

活動の結果、可燃ゴミ11袋（一袋30L）、不燃ゴミ2袋、粗大ゴミ1袋を回収しました。

多くの方々にご協力頂き、本当にありがとうございました。



■清掃活動の様子



■回収したゴミと参加者

○ ミニチュア豊川用水の結果は（出前講座にて）

当事業部豊橋支所では、地元小学校を対象に出前講座を実施しております。以前の出前講座にて、「サイホンの仕組みを説明して欲しい」といったご要望を受け、今回は、「ミニチュア豊川用水」の模型を使って、よりわかりやすい説明を行いました。

授業の流れは、①豊川用水の説明（４５分）の後②実験（３０分）です！豊川用水についての説明を終えたところで、いざ実験です。児童たちも、興味津々といった感じです。

いざ実験！水がストローを通じて出てきます。大成功です！児童たちは、「すごい！」といいながら、実験に釘付けです。「ミニチュア豊川用水」を作った甲斐がありました。さらに、今回は実験をもう一つ。「トンネルはなぜ丸いのか」ということも実験をしました。こちらも、高評価！２つの実験で児童たちの心をはっきり掴みました。

まだまだコロナ禍ですが、これからも児童たちの心をつかむ説明を目指します！



■サイホン模型を使っでの説明



■トンネル模型を使っでの説明

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 「夜叉ヶ池登山道清掃活動」に参加しました

10月31日（土）、揖斐川上流水源地域の清掃活動の一環である「夜叉ヶ池登山道清掃活動」（主催：NPO法人揖斐自然環境レンジャー・揖斐川上流漁業協同組合・生命の水と森の活動センター協議会）に当建設所も参加しました。

ここ数年は台風後の道路状況や天候の影響などで中止が続き、今回は3年ぶりの開催となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で参加人数を絞っての実施となりました。

当日は秋晴れの中で、事務局の方々や徳山ダム管理所職員と総勢17名の参加により、川上集落から夜叉ヶ池登山口までの林道（延長約12km）や沢筋のゴミを複数に分かれて収集しました。

参加者全員が登山口に集合して、それぞれが拾い集めたゴミを回収した後、福井県との県境の標高約1,100mにあり、夜叉姫と雨乞いにまつわる伝説がある夜叉ヶ池を目指して登山を行いました。道中は色づいた紅葉や幽玄の滝、昇龍の滝などの風景を楽しみながら、それぞれのペースで切り切りましたが、目指したゴールの夜叉ヶ池は龍神伝説にふさわしい神秘的な佇まいを醸し出し、情緒ある秋の一日となりました。



■ 清掃活動の様子



■ 夜叉ヶ池の眺望

愛知用水総合管理所

○ 愛知用水幹線水路の水路徒歩巡視点検を実施しました

11月19日（木）に、安全協議会で愛知用水幹線水路沿いを歩いて施設巡視点検を実施しました。当日は、中流管理室管内における「大久手第1開水路～中根原第3開水路」を対象に行いました。

愛知用水の幹線水路は、長大で開水路区間も多くあり、水路内への第三者進入や転落を防止する観点から要点検区間を抽出し、フェンス、交差構造物（橋梁など）の状態の可否（フェンス等の隙間の有無）を確認するために巡視点検を徒歩によりあらためて行うことで、より細部にわたって気がつくことも多く、施設状況の改善に資する有意義な取組となりました。

11月6日（金）に上流管理所管内（今渡第1開水路～可児川開水路）における徒歩巡視点検を実施しており、引き続き、下流管理所管内も含めて愛知用水幹線水路の要点検区間で随時していく予定です。



■ 水路・横断橋フェンス下の隙間対策



■ 水路フェンス下の隙間対策

木曾川用水総合管理所

○ 労働安全講習会を開催しました

10月27日(火)に一宮労働基準監督署から講師をお招きし、労働安全講習会を開催しました。第13次労働災害防止推進計画の状況や労働災害事例を用いた死亡事故発生状況等の解説や防止のポイント、労働衛生にかかる規則改正やエイジフレンドリーガイドライン(高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)についての説明等を受け、労働災害防止の知識を深めました。

また、本年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため工事等受注者の出席が出来なかったため資料配付することで、周知を行いました。



■講習会の様子

○ 長岡小学校4年生の体験学習を実施しました

11月12日(木)に当管理所の隣にある稲沢市立長岡小学校の4年生が、水クイズ、操作室見学、水路模型により木曾川用水の仕組みについて体験学習しました。

長岡小学校の横には海部幹線水路が通っており、日頃見ている大きな水路にどんな役割があり、その水が地域の農業・水道・工業に使われ多くの人に役立っていることを学習し、水の大切さを学ぶことが出来たのではないかと思います。



■模型実験に参加する児童たち



■集合写真(管理所玄関前にて)



ことわざブレイク
【冬来りなば、春遠からじ】
・つらい時期を耐え抜けば幸せな時期は必ずくるというたとえ

○ 木曾川右岸緊急改築事業の工事見学会を実施しました

11月19日（木）及び26日（木）に上流部施設整備検討委員会幹事、関係機関職員、機構職員を対象に木曾川右岸緊急改築事業の工事見学会を実施しました。見学者からは、「仮廻し管の接続、挿入後の様子、既設PC管の状態、鋼管挿入状況等一連の作業を見学して工事内容が良く理解できた」との感想をいただきました。



■ 工事見学会の様子

岩屋ダム管理所

○ 環境美化活動に参加しました

10月25日（日）、岩屋ダムの下流にある東区公民館が主催する環境美化活動に当管理所職員も多数参加しました。この活動は、水源地域の大切な自然を守るために、毎年、開催されているもので、この地区を訪れる人たちに気持ちよく通行してもらえるように、馬瀬川第二ダム（中部電力（株））から岩屋ダムの上流に位置する馬瀬大橋までの間において、沿道のゴミを回収するものです。



■ 回収したゴミ

当日は、爽やかな秋晴れのもと、約30名の参加者とともにポイ捨てされた空き缶などを回収したところ、予想以上にたくさんのゴミがありました。最後に、拾い集めたゴミを分別して1箇所まとめて終了となりました。

活動を通して、少しの充実感を感じながら、気持ちも晴れやかになりました。地域の方々に感謝することを忘れずに、今後も交流を深めるため、活動を行っていきます。

○ 『岩屋ダムかるた』を作成しました！

森と湖に親しむ旬間のイベントの一環として、『岩屋ダムかるた』を作成しました。岩屋ダムや水源地域（下呂市）を紹介する『かるたの文面』をホームページやTwitterで広く募集し、ダム愛好家の方などを中心に、38名の方から約420点の応募を頂きました。この応募作品の中から、採用作品44作品、このうち最優秀作品2作品を選定し、ホームページに掲載しました。かるたは見学を訪れた児童に配布し、児童たちからは「地元の良いところが分かって良かった！」、「知っていると出てきて普通のかるたより良い」等の感想を頂きました。

このかるたを通じて、少しでも岩屋ダムや下呂市の魅力を知ってもらえるきっかけになれば良いなと思っています。

なお、『岩屋ダムかるた』の写真・文章には著作権があります。知人・個人で楽しく遊んでください。販売はできません。

https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/file/karuta/iwayadam_karuta.pdf



■岩屋ダムかるた

阿木川ダム管理所

○ 体験学習会を実施しました

11月12日(木)と19日(木)に地元の恵那市立東野小学校の4・5年生を対象とした体験学習会を実施しました。はじめに管理所で阿木川ダムの概要説明を行った後、複数班に分かれ、ダム模型実験、ダム湖での巡視体験及び透明度の測定、貯水池で採水した水を用いて顕微鏡でのプランクトン観察をしました。最後の質問タイムでは非常に多くの鋭い質問をいただき、阿木川ダムに対する関心の高さが窺えました。



■ダム模型実験



■巡視体験及び透明度の測定

○ 出前講座を実施しました

11月26日(木)地元の中津川市立阿木小学校の4年生を対象とした出前講座を実施しました。本講座は毎年行なっているものであり、水に関する基本的な知識やダムの役割についてスライドで説明を行なった後、ダム湖で採取した水に生息するプランクトンの観察を顕微鏡で行ないました。顕微鏡を覗く児童からプランクトンに関する質問をいくつもいただき、答えるのが難しいものもい

くつかあり、職員側がまだまだ勉強不足であることを実感しました。コロナ禍の中ではございますが今後も感染症対策を徹底しつつ広報活動を行なって参ります。



■ 概要説明



■ 顕微鏡観察の様子

徳山ダム管理所

○ 水質テロ訓練を実施しました

11月30日（月）に「水質テロ訓練」を実施しました。徳山ダムの貯水池へ不審者が毒物を混入する水質テロが発生したことを想定した訓練を実施するもので、揖斐警察署、揖斐郡消防組合消防本部、徳山ダム管理所が参加し毎年実施しており今回で10回目となります。

貯水池際に不審者が侵入し怪しいものを投棄しているところを当ダム職員が発見して警察に通報し、警察が逃走する不審者の確保を行う「不審者対応訓練」と、船舶を使用し投げ込まれた容器の回収、水の採取分析、容器付近をオイルフェンスで囲い込み毒物を中和させる中和剤（仮定）をポンプ車から散布する「毒物対応訓練」を行いそれぞれの役割に応じた実践型訓練となっています。途中冷たい雨が降る中での訓練となりましたが、徳山ダムの担当である船舶によるオイルフェンスで囲む作業は3艇が連携し効率よく実施することができました。



■ 不審者を確保



■ 投げ込まれた容器を回収



■ オイルフェンスで囲い込み中和剤（仮定）を散布

長良川河口堰管理所

○ 人工河川を利用した銀毛アマゴ放流事業

長良川河口堰管理所では、長良川漁業協同組合が行っている「銀毛アマゴ放流事業」に協力をしています。

この事業は海に降下する前の銀毛化したアマゴの持つ母川回帰の特性を利用して、長良川河口堰の右岸側にあるアユふ化水路において1週間程度飼育した後に、河口堰下流の海域に放流し、来春に長良川への遡上を促すもので、平成17年度から継続して実施しており、今年で16回目になります。

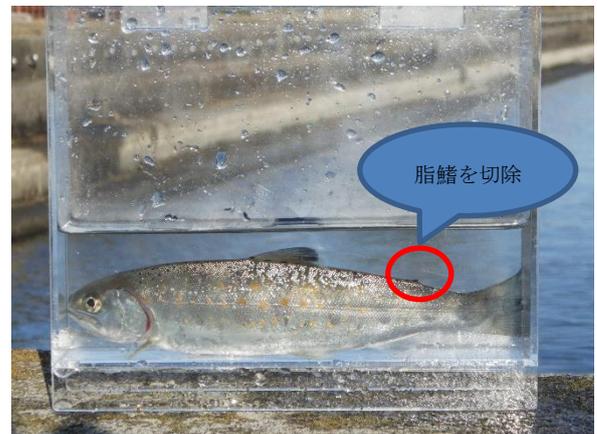
また、今年度の取り組みとしてアマゴの^{あぶらひれ}脂鰭を切除し、それを目印に来年度の遡上状況を確認するための標識作業を行いました。この作業は長良川漁業協同組合の漁師さん、岐阜県水産研究所神戸大学の先生とその学生の皆さんが協力して実施しました。

12月2、3日にアマゴの脂鰭を切除した標識作業を行い、放流したアマゴの総数は約1800匹にもなりました。放流したアマゴが来年の春にサツキマスとなって長良川を元気よく遡上してくるのを期待せずにはられません！

長良川河口堰管理所のホームページではサツキマスの他にもアユについて遡上情報等も公開しています。興味のある方は是非覗いてみてください。



■ 一匹ずつ手作業で脂鰭切りをする様子



■ 脂鰭切りされた銀毛化したアマゴ

味噌川ダム管理所

○ ドローン講習会を行いました

9月28日(月)及び10月2日(金)に所内ドローン講習会を開催いたしました。講習会を行う以前より、ドローンの操作を経験済みの職員も今回初めて操作するという職員も、まずはドローンの仕組みから改めて座学で勉強を行いました。そのあと風の無い晴天の中、ドローンを持って実地訓練を行い、最初はこわごととドローンの操作をしていた職員も、訓練の終盤には感覚をつかんでいき細かな方向転換の操作を覚え、正確にドローンを操縦していました。

当ダムではドローンを利用して、ダムの管理に役立てています。



■ドローン撮影 (味噌川ダム)



■ドローン講習の様子

○ 木祖村文化祭に出展しました

10月17日(土)、10月18日(日)の2日間にかけて、地元木祖村で木祖村文化祭がありました。味噌川ダムも展示会場の社会体育館にブースをお借りして、味噌川ダムの成り立ち等を学べるパネルを展示しました。また、味噌川ダム防災資料館で展示されている絵画や染色の教室で作られた作品も併せて展示させていただきました。

当日はコロナ禍の中、たくさんの来場者が味噌川ダムの展示を見ていただき、中には足をとめてじっくり見ていかれる方もいました。



■展示の様子



ことわざブレイク
【柳に雪折れなし】

・柔軟なものの方が耐える力が強いことを意味する

○ 機器の操作訓練を行いました

10月22日(木)に機器の操作訓練を行いました。今回の機器操作訓練では、自家発電機を使用した水中ポンプによる土砂の排出作業の方法をすべての職員が行うことができるように、水中ポンプによる排出作業の一連の流れを訓練しました。

特に操作が複雑な発電機の操作方法、仕組み、また電力を扱う上での注意事項等を詳しく学びました。機器の操作には複雑な部分もありますが、操作方法を管理所全職員が習得し、現場での作業がスムーズに行えるように備えています。



■機器操作訓練の様子

三重用水管理所

○ 「水の恵みカード」の配布開始についてテレビ取材を受けました

三重用水においては12月5日(土)から「水の恵みカード」の配布を始めました。配布場所は当管理所及び日本昭和音楽村管理事務所です。

また、このカードの配布開始にあたってNHK津放送局より取材を受けました。取材では、飯田所長へのインタビューという形で「水の恵みカード」を観光客等へ配布することの主旨説明及び所内受付スペースにて「水の恵みカード」を配布するシーン(イメージ)のカメラ撮影等が行われました。

三重の特産品である伊勢茶は、西暦1200年頃に栄西禅師が中国から持ち帰った茶の種子を伊勢地方に分殖されたのが始まりと言われていることから、「水の恵みカード」では、当用水を利用して県内北勢地域で栽培されている煎茶・かぶせ茶などで有名な伊勢茶の紹介をしています。



■インタビューを受ける飯田所長



■「水の恵みカード」配布の(イメージ)撮影

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【令和3年1月～2月】

ほとんどのイベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期又は中止となっています

1月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
4	月	仕事始め	
2月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
4	木	木曾川右岸緊急改築事業完了報告会 (中部支社)	
25	木	「水通信」配信予定	

編集後記

【中部支社担当課：中部支社事業部設備課】



令和2年も残り数えるほどとなりました。

「今年はどうな年だった？」と問われると、誰もが「新型コロナウイルスの影響により日々の活動が制約された1年だった」と答えるのではないのでしょうか？

3月の送別会、4月の歓迎会や花見、東京オリンピックまでもが開催出来なくなっていました。

1年前に、世界中が新型コロナウイルスの影響を受けるとは誰が想像出来たでしょう？

とは言っても、この状況をなんとか乗り越えないといけません。

今は感染予防（手洗い、3密を避けた行動）に心がけ、また、心と身体の健康を保ちながら新年を迎えたいと思います。

やがて治療薬やワクチンが開発されて、今回の騒動についても冷静に振り返るときが来る。それが令和3年であることを切に願って。

皆様にとって令和3年が良い年でありますように。



